

科目番号	科目名			英語名	
HE20053	生化学実習			Practice of Biochemistry	
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室
1年	1単位	秋学期BC	金曜日	3、4時限 4、5時限	4B211
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）					
久武幸司・福田綾・西村健（イノベーション棟 402-3・3929・17時以降）					
学習目標					
生体物質の分離方法と、単離した物質を定性的または定量的に解析する方法を学び、生命現象の分子レベルでの解析に必要な基本的な知識と技術を習得する。また、実験結果をプレゼンテーションする方法も習得する。					
使用言語（ <input checked="" type="checkbox"/> してください）： <input type="checkbox"/> 日本語・ <input type="checkbox"/> 英語・ <input checked="" type="checkbox"/> バイリンガル					
	日程	担当教員	授業概要		
1	11月9日	久武幸司 他	核酸：ブタ肝臓より DNA を単離し、その性質を調べる。		
2	11月15日 (木)	久武幸司 他	核酸：ブタ肝臓より DNA を単離し、その性質を調べる。		
3	11月16日	久武幸司 他	糖質：ラット肝臓よりグリコーゲンを単離し、その性質を調べる。		
4	12月6日 (木)	久武幸司 他	糖質：ラット肝臓よりグリコーゲンを単離し、その性質を調べる。		
5	12月7日	久武幸司 他	タンパク質：ブタ心臓よりシトクロムCを精製し、その性質を調べる。		
6	12月14日	久武幸司 他	タンパク質：ブタ心臓よりシトクロムCを精製し、その性質を調べる。		
7	1月11日	久武幸司 他	酵素：ラット肝臓よりアルギナーゼを抽出し、その性質を調べる。		
8	1月25日	久武幸司 他	酵素：ラット肝臓よりアルギナーゼを抽出し、その性質を調べる。		
9	2月1日	全教員	プレゼンテーション		
10	2月8日	全教員	プレゼンテーション		
単位取得要件	生体物質を抽出し、その性状や分子活性を解析する基本的技術と知識の習得。				
使用教科書・教材	実習開始前に配付する実習書に基づいて行う。参考書として「ヴォート基礎生化学」を使用する。				
成績評価	出席、レポート、プレゼンテーションにて評価する。				
備考：実習書を良く読んで実験の目的や手順を理解しておくこと。また、積極的に実習に取り組み、できる限り自分の手で操作を行うこと。実習中にレポート作成を行うので、実習には A4 レポート用紙、筆記用具、生化学教科書を各自持参すること。					